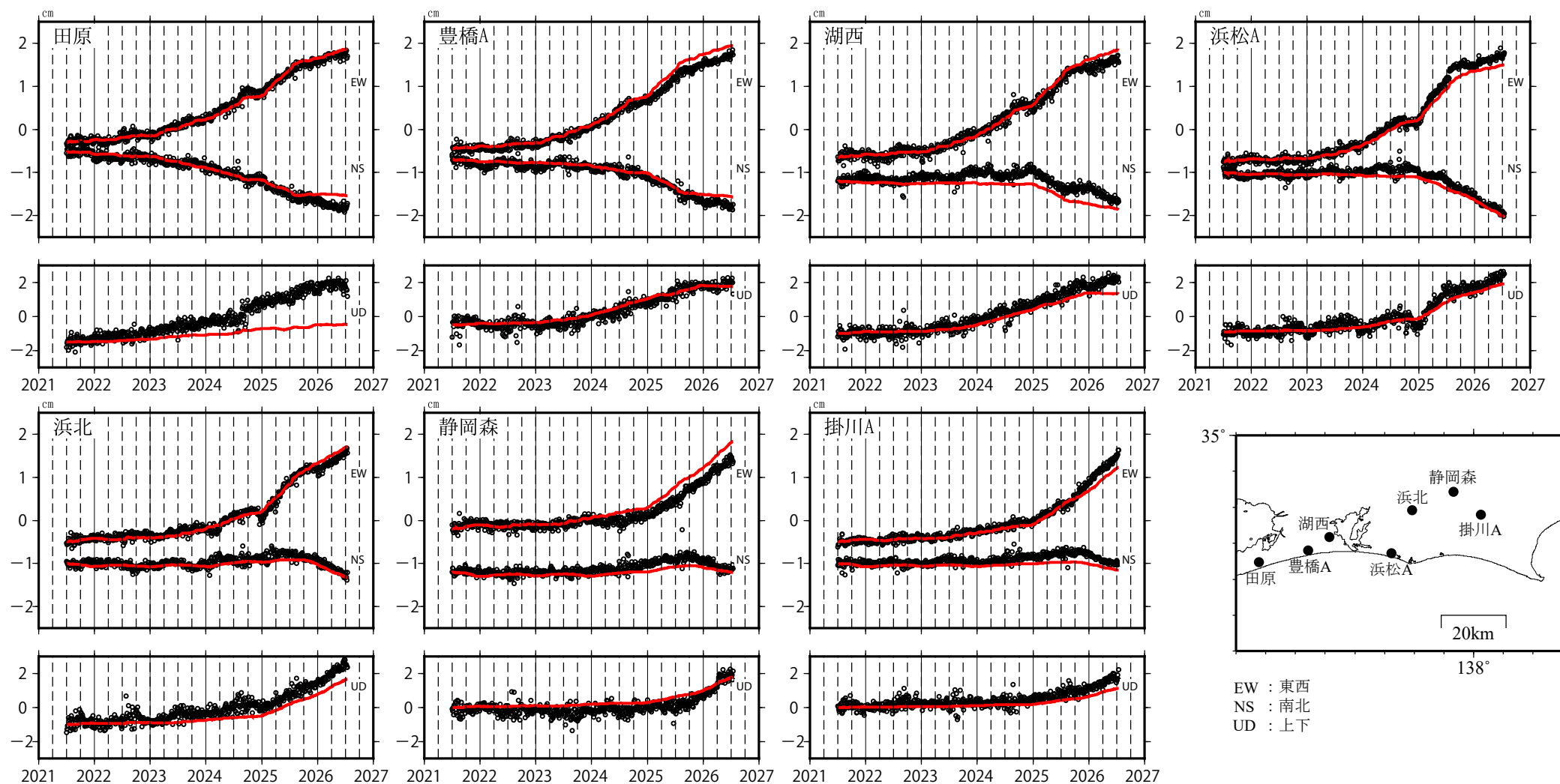
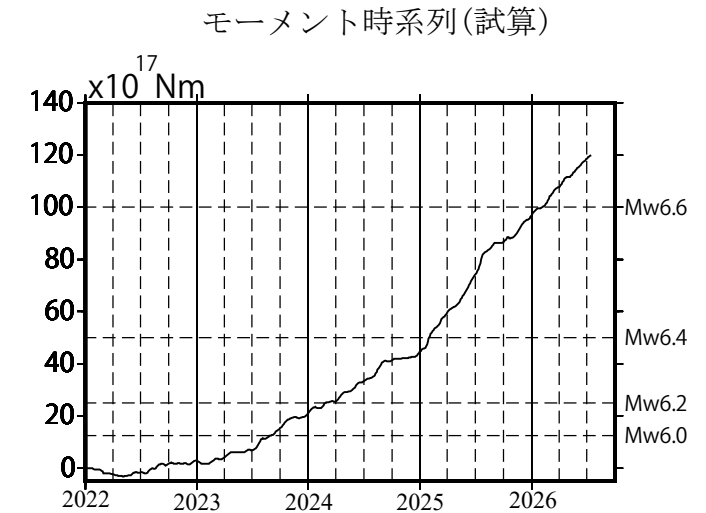
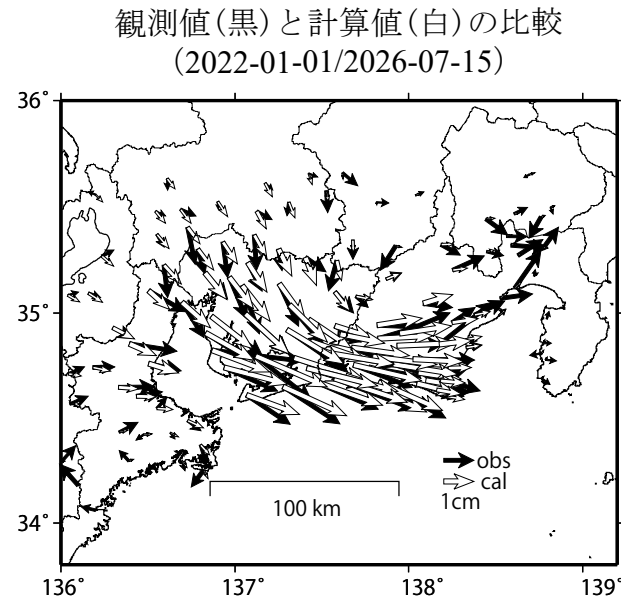
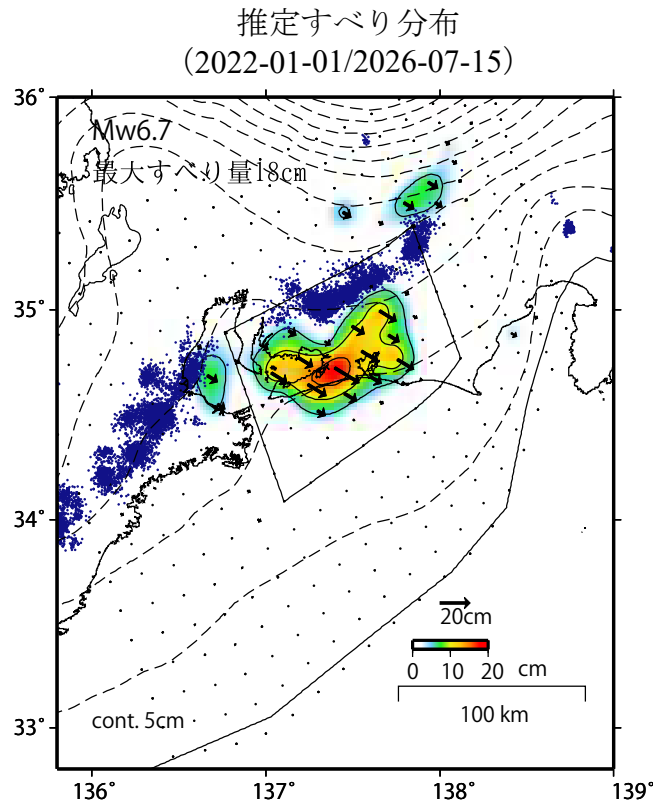


東海地域の観測点の座標時系列(黒丸)と計算値(赤線) 時間依存のインバージョン



GNSSデータから推定された東海地域の長期的ゆっくりすべり(暫定)



Mw及び最大すべり量はプレート面に沿って評価した値を記載している。
すべり量(カラー)及びすべりベクトルは水平面に投影したものを示している。
推定したすべり量が標準偏差(σ)の3倍以上のグリッドを黒色で示している。

使用データ: GEONETによる日々の座標値(F5.1解、R5.1解)

F5.1解(2021-07-01/2026-06-27) R5.1解(2026-06-28/2026-07-15)

トレンド期間: 2020-01-01/2022-01-01 (年周・半年周成分は補正していない)

モーメント計算範囲: 左図の黒枠内側

観測値: 3日間の平均値をカルマンフィルターで平滑化した値

黒破線: フィリピン海プレート上面の等深線(Hirose et al., 2008)

すべり方向: プレートの沈み込み方向に拘束

青丸: 低周波地震(気象庁一元化震源)(期間: 2022-01-01/2026-07-15)

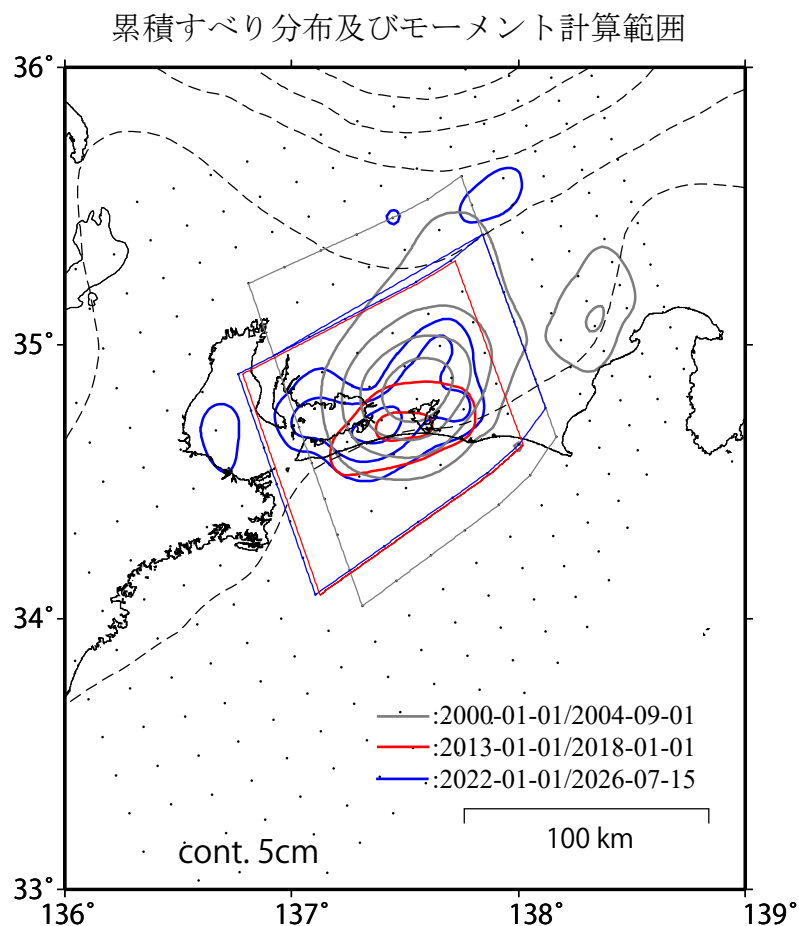
モーメント: 断層運動のエネルギーの目安となる量。

解析での補正内容

- * 電子基準点の保守等による変動
- * 共通誤差成分を推定
- * 平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震の粘弾性変形(Suito 2017)
- * 令和6年能登半島地震に伴う地殻変動
- * 令和6年能登半島地震の粘弾性変形(Suito 2025)
- * 短期的ゆっくりすべりに伴う地殻変動(2017-01/2026-06-26: 気象庁カタログによる)

固定局: 三隅

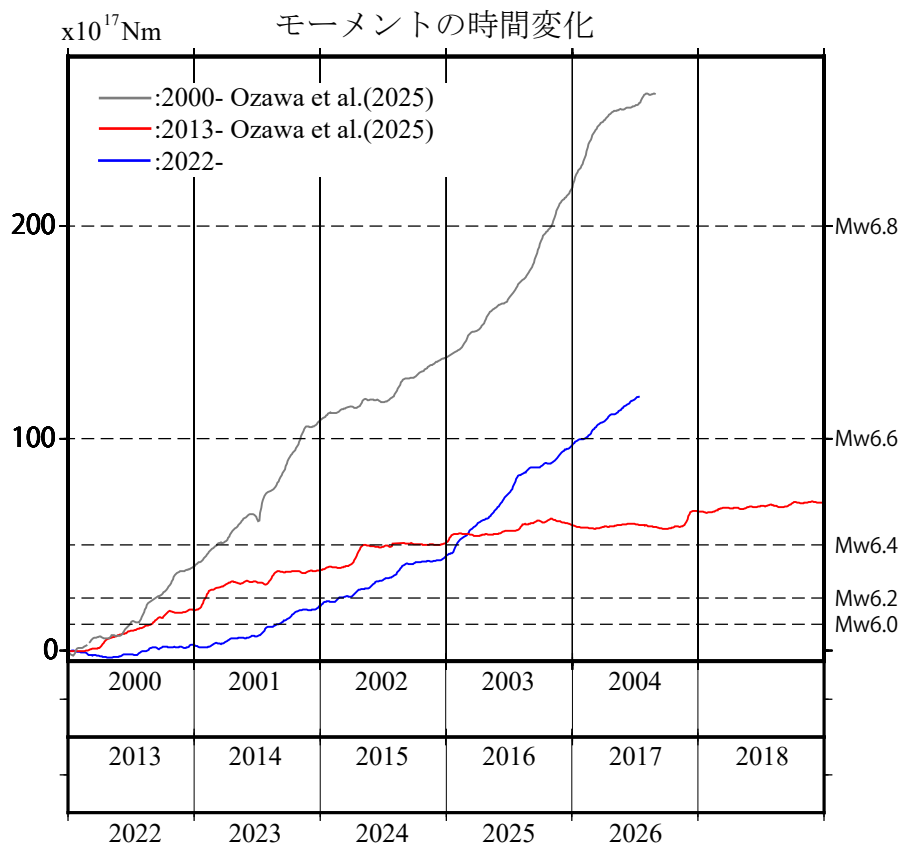
非定常地殻変動から推定される累積すべり分布及びモーメントの時間変化（暫定）



S. Ozawa, H. Munekane, H. Suito, M. Kuwahara, GJI (2025)

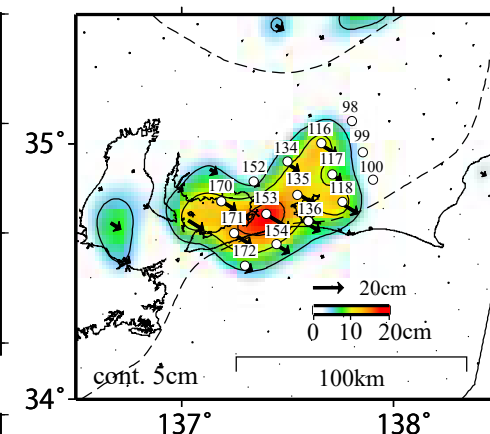
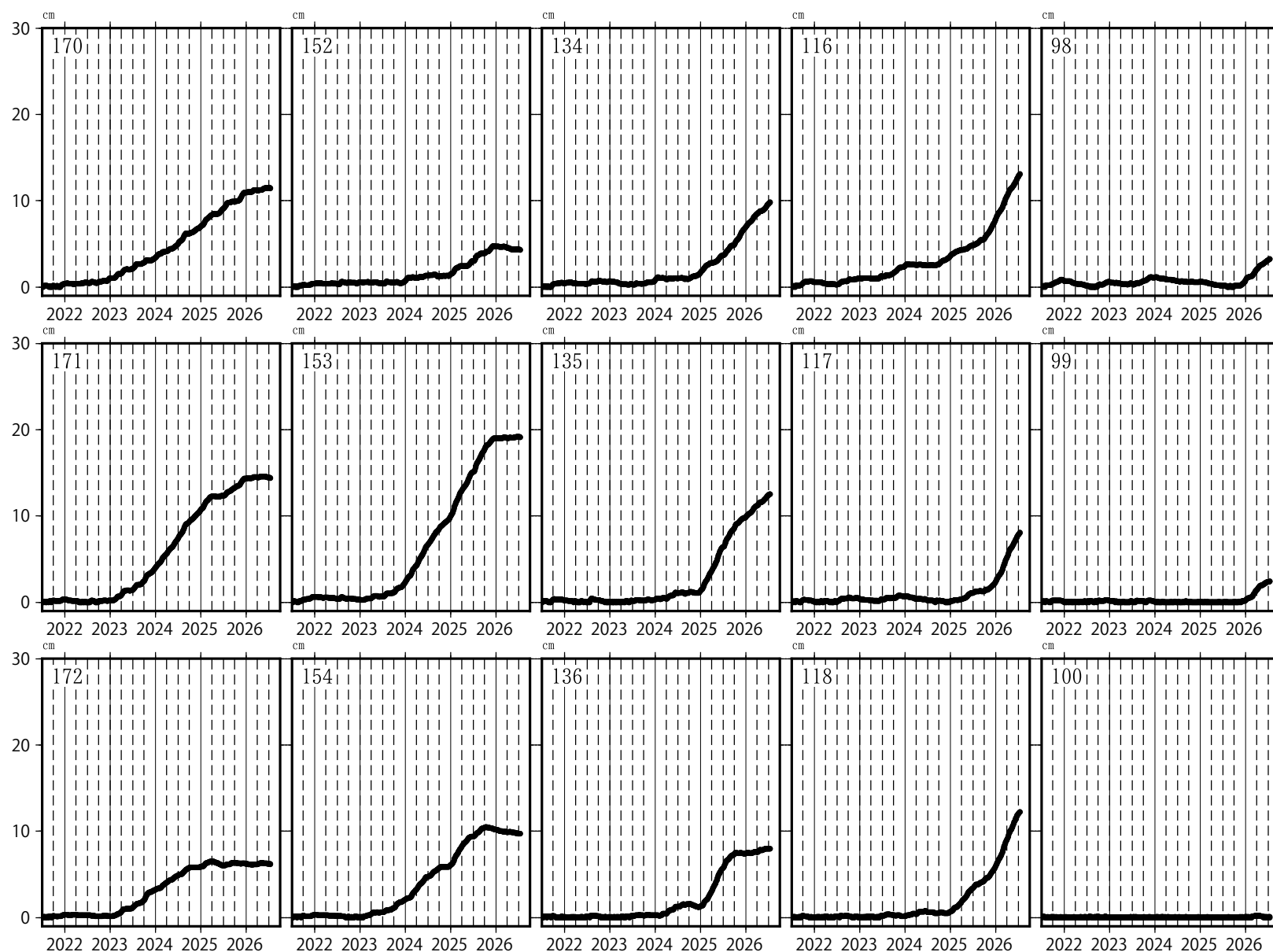
*それぞれの期間の累積のすべり量を等値線で示している。

*黒破線は、沈み込む海側プレート上面の等深線。



*それぞれの期間のモーメントの時間変化を、横軸を重ねて示している。

東海地域の長期的ゆっくりすべり 各グリッドにおけるすべりの時間変化 時間依存のインバージョン



プレートの沈み込み方向と平行な方向の
変化を示している。

すべり量(カラー)及びすべりベクトルは
水平面に投影したものを示している。

推定したすべり量が標準偏差(σ)の3倍
以上のグリッドを黒色で示している。